



自分たちの若い力を、町の活性化に役立てたい。

異業種の仲間が集まって、一緒に取り組むとき、いろいろなアイデアが生まれてくる。

町の元気を代表する二代目・元目の若手商工業者たち

志津川町商工会青年部

会員二十六名。六十〜七十名が所属していたピーク時(平成四・五年)よりは減少しているものの、今でも県下有数の会員数を誇る「商工会青年部」は一年を通して、さまざまなイベントを開催しています。春のフリーマーケット、夏まつりでのチャリティーピカアゲデー、秋のカップリングパーティー、その他、数々の町内催事もバックアップ。ホームページによる情報発信も行っています。最近では、テレビ番組「OH!パ



十歳から五十八歳まで

夏まつりトコヤツサイコンテストに参加していた五日町の踊り好きな人たちが集まって始めた「海童いしゃり」も、今年で結成七年目。親子で参加している家族も多く、約四十名のメンバーが、まるで大きな家族のような付き合い。二月から十一月まで週二回イベント前は週三四回、練習を重ねています。「大会で賞を取るためにやっているのではない。楽しむことが第一の目的」と、みんな、練習日が待ち遠しくて練習場の五日町柔道場に集まってくる。最近では近隣の町の祭りに呼ばれるほどの人気。「いつか、北海道のYOSAKOIソーランに出場したい」と、夢は大きく広がります。

みちのくYOSAKOI祭りの常連。実力派よさこいグループ「海童いしゃり」



大人も子どももハッスルする、みんな楽しみな秋の町民体育大会

昔の面影が残る商店街の町並みは、大切にしたい風景

素直で明るい志津川の子は、町の未来を担う私たちの宝

「コサイト」も講演会も「総合体育館」へサイトアーナ

出雲い、ふれあいが今日も。活発な公民館活動の目録

桃山様子を伝える鐘楼と山門、杉並木が美しい大雄寺

